

令和5年度府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ①結果と原因、部分と全体、考えと事例など、情報と情報がどのような関係で結びついているかの理解が十分ではない。
- ②問題解決の過程を筋道立てて考え、論理的に理解する力が十分ではない。
- ③資料や文章などの情報を読み取り、理解したことをまとめる力が十分ではない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①情報と情報の結びつきにはどのような関係性があるのか、また、その関係性をどのように見分けるのかといった指導がまだ十分ではない。
- ②問題解決の見通しをもたせたり、根拠を明らかにさせたりなど、論理的に考え表現させる機会がまだ十分ではない。
- ③情報の中から重要な部分を落とさずに読み取る力と、その要点をまとめる力の育成がまだ十分ではない。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

- ①情報と情報がどのような関係で結びついているかに着目し、その関係性を理解しながら文章を読むことができる児童。
- ②問題解決の過程を重視し、筋道を立てながら考えることを通して、理解を深められる児童。
- ③資料や文章などの要点を読み取り、理解したことを自分の言葉でまとめられる児童。

(2) 目指す授業像

- ①文章の読み取りにおいて、主語と述語の関係や段落相互の関係などを読み取らせる場面が意図的に組み込まれた授業。
- ②問題解決の手順や予想される結果などの見通しをもち、その根拠を具体的に示す機会が多く設けられた授業。
- ③資料や文章の中から要点につながる語や文を見付け、自分の言葉でまとめる活動が意図的に組み込まれた授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	説明文の学習では、段落ごとの関係を整理し、結論への道筋を捉える力を育てる。語彙力を高めるため、日常でも辞書や資料を自らすすんで使うよう、授業で活用する機会を増やす。	音楽	楽譜に書かれている情報（強弱記号・歌詞・音符）を読み取り、どのように表現するかを考えたり、演奏の仕方を工夫したりする指導を充実する。
算数	日常生活の場面と関連付けて、データの特徴や傾向に着目して考察する力を育てる指導の充実を図る。伴って変わる2量について、変化の規則性をもとに筋道立てて考え、式に表したり、言葉で説明したりする指導の充実を図る。	図画工作	児童が自ら目標をもち、計画的に進めるための方法を考える場面の設定、目標を達成するために技能や知識を活用して取り組むことができる資料や材料の充実を図る。
社会	図や写真、グラフなどの資料から分かることを児童同士交流させたり、ICT 機器等を活用したりして、課題に対して、資料から適切に情報を読み取れるようにする。また、自分の考えの根拠として適切な資料を見付ける指導の充実を図る。	家庭	基本的な知識や技能の定着を図るため、スモールステップの授業を基本とする。主体性をもって活動ができるよう、活動の内容や手順を明確にする。
理科	観察・実験の質や量を充実させるとともに、繰り返し操作をさせる指導の充実を図る。主体的な問題解決の活動を充実させ、観察・実験の結果を、問題や予想などに照らし合わせて考察させる指導の充実を図る。	体育	段階的に技能を習得できる場を設定し、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。ICT 機器を有効に活用し、体の動かし方のイメージをつかみやすくする。
生活	体験を重視し、実際に見学したり、インタビューしたりする活動を多く取り入れていく。観察や活動の内容を精選し、児童が事物に対して、関連付けて見たり、考えたりできるような視点を授業の中で与えていく。	外国語	繰り返し練習できるようなデジタル教材を準備する。また、児童同士英語で会話をしている際には、場の設定をしたり、既習の英語表現を使って会話したりする等、目的をもって会話をさせる。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

個別最適な学び：一人一人の学習習熟度に合った問題を提供することで、学習内容の理解の定着を図る。

協働的な学び：児童相互の考えや作品の共有機能、共同編集機能などを用いて、児童の学び合いを推進する。

令和5年度府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）